小 中学生 の生活習慣 ~生活習慣アンケートより~

から、 いる『生活習慣アンケー 「睡眠・家庭学習・インターネッ · 利用 L 特に学校でも重視している についてお知らせします。 の中

小中学生を対象に毎年実施して

朝6時30分までの起床を実践しま た。本町では、「早起き」「早寝」 3年前より約10%ほど上がりま 8時間の睡眠がとれる子どもは、 「朝ごはん」を推進しています。 小学生で8時間、 中学生で6



自主的な学習につなげるにあたり 導しています。これは、中学校での 時間程度の学習ができるように指 という子どもが増えてきました。 時間未満」あるいは「全くしない られませんが、 小学校では高学年までに、 小学生の場合は大きな変化は見 中学生の場合「1 毎 日 1

> 化した学習は、学必要なことです。 上で欠かすことができません。 学力向上をめざす 各家庭での習慣

インター ネット利用

合、携帯電話の所持率も利用時間 も急増しています。 者は増加しています。 たちが多くいますが、 時間を決めて利用している子ども 回答した子どもは、 イント以上少なくなりました。 3年前より10

たいものです。 考えなくてはならない状況です。 でも家庭でも、 い使い方」を教えていくようにし くメディアとの関わり方を、 概に禁止するのではなく、「正し さらには地域でも 学校

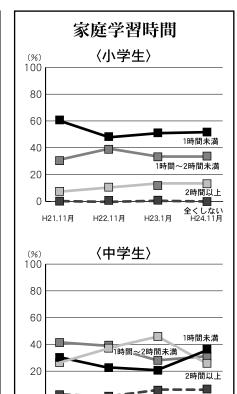
1時間~2時間未満

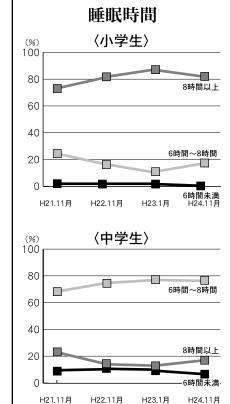
2時間以上

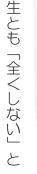
H24.11F

H23.1月

H23.1月







睡

このように子どもたちを取り巻 中学生の場で実に利用

20

(%) 100

H21.11月

インターネット利用時間

〈小学生〉

H22.11月

H22.11月

〈中学生〉

美味しい定食が出来ました

理教室」を開催しました。 でもらうために「第4回男の料つである「料理」を男性に学ん

調理していました。 富な参加者も多く、 肉じゃが、なめこのおろし和え」 に挑戦しました。 さん指導のもと「鯖の味噌煮 来年度も開催予定ですので、 この度は、 栄養士の三宅光子 料理経験の豊 てきぱきと

きます。

次に、

記念講演として、

部落解

んに歌を交えた講話をしていただ

ーソングライターの石川達之さ

多くの参加をお待ちしています。

集会」を開催します。

最初に特別公演として、

シン

ため「**第40回部落解放智頭町研究** ゆる人権問題の早期解決を目指す

部落差別をはじめとする、

あら

人権文化を確立しよう!



す。お誘い合わせのうえ、

ご参加

【日時】 ください

午後1時~午後3時40分2月24日(日)

の」について講演していただきま

「これからの解放運動がめざすも

放同盟中央本部の松岡徹書記長に

原 因 ②

周知不足

解決策

見やすいチラシを作る

ると話されました。 この2つが大半の原因を占め

くなってきています。

このことを踏まえ、

家事のひと

らお互い協力することが望ま と私生活のバランスを保ちなが いう従来の考え方を見直し、

仕事

「男は仕事・女は家事育児」と

男性も家事をしましょう

総合センター・大集会室

行列ができる 講座とチラシの作り方

演していただきました。 静香理事長を講師に迎え、 男女共同参画おおた」の牟田 ターで東京都大田区「NPO 12月9日 (日) に総合セン 講

を基に説明されました。 ことを、自身の成功・失敗例 座・チラシになるか」という

「どうすれば集客できる講

画者側にあり、 が少なかった原因の多くは企 イベントの参加者

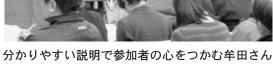
解決策 原因① 対象を絞れていない 企画者が対象者の選定を しっかりと行う



見やすいチラシを作成する (A4用紙の場合)

- 紙を縦に使用
- 大きく見やすい字体で書く タイトルは上3分の1を使い
- イベントに参加することによ ってどうなるのかが分かる ルの見えるタイトル』に

なタイトルにすると、 害者支援セミナー」というよう なか参加することができません くても周りの目を気にしてなか メスティックバイオレンス) して企画することが大切です。 する また「被害者のためのDV 参加者の立場やニーズを考慮 参加した



役場総務課 人権同和政策室 萩原・岸本 問合せ先 **☎** 75 − 4115 問合せ先 教育委員会 氏橋 **☎** 75 − 3112

H22.11月

全くしない

H23.1月

9 広報ちづ No. 731 広報ちづ 平成25年2月